

一貫教育校の広場

ニューヨーク学院
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部

幼稚舎

目指せ1000種—幼稚舎構内の虫調べ—

●幼稚舎 教諭

須黒達巳すぐろたつみ

「虫採り」というと、夏休みに郊外に出かけてするもの、というイメージがあるかと思います。幼稚舎は、渋谷区恵比寿と港区白金にまたがって位置しており、航空写真で見ても、その立地は明らかに「都市部」だと言えましょう。そんな幼稚舎の構内に、一体どのくらい虫がいると思われるでしょうか。幼稚舎に勤める以前、昆虫やクモの調査で収入を得ていた私は、就任と同時に、理科の先輩からの勧めもあり、「構内の虫を全部調べよ」という取り組みを始めてみました。

実のところ、当初さほど期待していなかったのですが、結果は驚くべきものでした。幼稚舎の誇るビオトープ環境である「理科園」には、コンパクトながら、畑、池、草地、樹林などの要素が混在し、想像を遙かに上回る多様な虫たちが生息していたのです。理科園のみならず、グラウンドの周囲の植栽からも、目を凝らせばさまざまな虫が見つかりました。そして、オフシーズンの屋外プールは、小型の水生昆虫の楽園になっていました。私は授業や打ち合わせの合間を縫っては構内で虫を採集し、一種一種、それぞれのグループの専門的な図鑑や論文を頼りに調べていき、5年目となる現在、幼稚舎で確認された昆虫・クモの種数は700に迫ろうとしています。クモだけでも75種で



環境省により準絶滅危惧種に指定されているベニイトトンボ。限られた水辺にしか生息しないが、理科園で確認されている。

す。中には、環境省や東京都が絶滅危惧種に指定している、貴重なものも含まれています。さらに、理科園で採集された標本が、新種や、国内で新たに見つかった外来種だったり、専門の研究者によって発表された例もあります。また、自然を織り込んだこれからの都市づくりを考える上で、どの程度の環境を残せば、どのくらい生き物が生息できるのか、というデータとして、幼稚舎のリストが価値あるものになると信じています。将来的には1000種超えのリストを目指しており、意外と現実的に可能な目標だと踏んでいます。

もちろん、幼稚舎生もこの環境を大いに活用しており、理科の時間を中心に、季節の植物や虫を採集する活動をしています。私は、人類が今後とも豊かな暮らしを維持するためには、次世代を担うリーダーが自然環境に関するリテラシーを備えていることが不可欠だと考えています。幼稚舎生には、今はただ楽しむながら、「身の回りにさまざまな生き物が暮らしていること」を肌感覚として知っている大人になってほしいと願っています。

末筆ながら、私のこうした取り組みを理解し、応援してくださる慶應義塾の懐の深さに、心より感謝いたします。